

令和6年度第1回消費者等との定期情報交換会 議事概要

1. 開催日時

令和6年6月14日（金）10:00~12:00

2. 開催場所

農事組合法人榎本牧場（埼玉県上尾市畔吉 736-1）

3. 出席者及び議事

別紙のとおり。

4. 概要

牛舎、人工授精、搾乳ロボット、6次化施設等を見学した後に、意見交換を実施。主なご意見は以下のとおり。

（消費者団体）搾乳ロボットの導入等により労働時間の削減に取り組まれているが、家族経営で乳牛を毎日育てていくことは大変。将来にわたり継続的に経営するための課題は何か。

（生産者）搾乳ロボットは24時間稼働するが、牛、ロボット、牧草の管理は私しかできないこともあり、正直私が倒れると経営はかなり厳しくなる。

酪農向けの求人サイトにも登録し募集するが、酪農経験がある方の応募はほとんどない。経験者は北海道や東北の大規模農場へ行くのではないか。

（消費者団体）酪農は大変な仕事であり、機械化は営農する上で必要。機械化によって収益化を進めるだけではなく、牛を健康に育てていくということも忘れてはいけない。また、消費者は完成した商品しか見ないのではなく、安全な食品を届けるための生産者の努力を知る機会に触れることも重要。

（消費者団体）母牛が生産する生乳から牛乳が生産される過程について正しく理解するためには、まず生産現場のことを知ることが大切。このためには、消費者と生産者の距離を縮めることが重要。また、急用などに対応するために酪農ヘルパーを利用しないのか。

（生産者）ほかの牧場と比較すると、消費者との距離を縮めているものの、これ以上近づけると、衛生管理面などで問題が生じるリスクがあることを理解いただきたい。酪農ヘルパーはコストもかかるし、搾乳ロボットなど特殊な機械の扱いが難しいのが現状。

（消費者団体）牛が自由に動けることは、ストレス軽減には効果があると思うが、搾乳ロボットにより常に搾乳することが牛にとってストレスにならないのか。また、糞尿は液肥として牧草に散布しているが、余った量はどのように活用しているのか。

(生産者) 搾乳ロボットを使用しても、私の見る限りでは牛のストレスになっているようには思えない。また、ここで生じる液肥量は採草地の面積に比べてまだ余裕がある。糞尿処理は大変重要な問題。

(消費者団体) 電気代、飼料代の高騰等による生産コストの上昇分が価格転嫁されることについて、消費者が受け入れることは重要。この施設には、見学者が牛のことを学べるように看板やパネルが沢山掲示されており、学びの場として大変有用だと感じた。消費者が生産現場をみることによって、生産者の努力や苦勞が心に響き応援したいという気持ちが育まれる。このような場所は大切である。また、濃厚飼料の自給は難しいのか。

(生産者) 粗飼料は自給できているものの、トウモロコシの栽培は、これまでの経験を踏まえても難しい。

(消費者団体) 幼稚園児等の子供たちが訪れているのを見ると、牛乳がこのような環境で生産されることを知ってもらえるため、とても有用な取組と評価。ここのアイスクリームなどを食することは、この現場を訪れたいというインセンティブにもなるが、アイスクリームなどは他の場所でも買えるのか。

(生産者) これまで JA の直売場やスーパーなどに陳列したこともあるが、煩雑な手続きもあり、今は限定的に留めている。まず、この牧場で味わっていただくことに、こだわっていききたい。

(消費者団体) 飼養牛のうち、外部導入の割合はどれくらいか。また、生産コストの上昇分を価格転嫁できているのか。

(生産者) 現在の飼養牛のほとんどが自家育成。なるべく自家育成の方針で性判別精液を用いて人工授精にも取り組んでいる。また、ジェラートの価格については転嫁ができており、値上げを行ったが売上には影響はない。

(消費者団体) 搾乳ロボットの導入にあたって、導入コスト以外でデメリットはあるか。また、酪農経営を維持するためには、どのような課題があるのか。

(生産者) 搾乳ロボットについては機能がとても複雑で誰もが扱えるわけではなく、実際取り扱えるのは私だけ。自分が病気の時などの対応には苦慮している。

若者に対し、酪農の良さを伝えることが重要。このままでは酪農全体として後継者に困り、改善しないと、10年後、20年後には今のようにスーパーで牛乳が買えなくなるかもしれない。

(消費者団体) 野菜は野菜として並ぶが、牛乳などは工場の商品となって、加工品としてお店に並ぶ。牛乳は牛が日々生産する生乳を加工するものであり、工場で生産される均一性のある製品とは異なる。このことを伝えていくことは重要。

(当日の様子)



(榎本牧場のご紹介)



(搾乳ロボット、人工授精のご紹介)



(牛舎の施設や作業のご紹介)



(意見交換の様子)

○ 出席者（敬称略）

<消費者団体>（団体名の五十音順に記載）

主婦連合会	事務局	中村 紀子
一般財団法人消費科学センター	理事	犬伏 由利子
	理事	井岡 智子
一般社団法人全国消費者団体連絡会	政策スタッフ	廣田 浩子
	政策スタッフ	中本 純子
全国女性団体連絡協議会	事務局	松信 利彦
日本生活協同組合連合会	組合員活動グループ	上村 敬之
	組合員活動グループ	佐藤 茜

<生産者>

農事組合法人榎本牧場	代表理事	榎本 求
	理事	榎本 貴

<農林水産省>

消費・安全局	大臣官房審議官（兼消費・安全局）	坂田 進
	大臣官房審議官（兼消費・安全局兼輸出・国際局）	熊谷 法夫
	食品安全政策課	課長 新川 俊一
	動物衛生課	課長補佐 山木 陽介
畜産局	牛乳乳製品課	課長補佐 平松 龍人
関東農政局	消費・安全部	部長 佐久間 浩
	消費生活課	課長 柏谷 広樹
		課長補佐 瓜生 啓子

○ 議事

- ・ 榎本牧場のご紹介
- ・ 牛舎等の見学
- ・ 意見交換